

市民の暮らしを削ってきたトップダウン市政の現職敗れる! 当選は本郷谷氏 伊藤よいちろう候補9,292票を獲得。 政治を前にすすめ、公約実現のためにがんばります。

日本共産党

| 候補者 | 党派 | 得票 |
|---------|-------------|--------|
| 杉浦誠一 | 無所属 | 29,354 |
| 伊藤よいちろう | 日本共産党 | 9,292 |
| 川井敏久 | 無所属 | 47,897 |
| 末松ひろと | 無所属 | 19,051 |
| 本郷谷けんじ | 無所属 民主推薦 | 55,369 |

市民のみなさん、昨日投票が行われた松戸市長選挙で、日本共産党の伊藤よいちろう候補は、多数激戦のなかで9292票を獲得しました。

今度の市長選挙は、日本共産党の伊藤よいちろう候補のほかに、現職の川井氏と3人の市議会議員が立候補しました。しかし、川井市長とこれら3人の市議会議員は、昨年の国保料の大幅値上げなど、市民の暮らしをいっしょに削ってきた人たちです。また、赤字を理由に、市立病院の「民営化」を進めようとしています。

日本共産党の伊藤よいちろう候補は、市立病院の建て替えは市民の声をよく聞いて進め市直営を貫きます、国保料・介護保険料の値下げや、子どもの医療費無料化の拡大など、暮らし第一の市政へ転換しますと訴えて最後まで奮闘しました。しかし、告示前一ヶ月を切つての出馬という出遅れは挽回できず、残念な結果になりました。

現職の川井敏久氏は、市民の声を聞かずに市立病院の建て替え計画を進め、暮らしも削ってきたトップダウン政治が批判を浴びました。

本郷谷氏は、川井市長への批判票を集めたほか、菅政権の風も受けて当選しました。国保料の引き下げや子どもの医療費無料化の拡大などの公約は、本郷谷氏のこれまでの言動と矛盾する面もありますが、市民の願いを反映したものです。

日本共産党と伊藤よいちろうは、今後とも掲げた公約の実現のために、全力を尽くして頑張ります。そのためにも、引き続き参議院選挙で、アメリカにも財界にもはっきりモノが言える日本共産党を伸ばしていただきますよう、心からお願いいたします。

2010年6月14日

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会